



SOKEN.SHA
LOVE ▶ FOOD ▶ PEACE

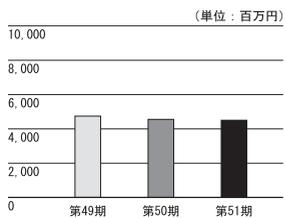
第 51 期

事業報告書

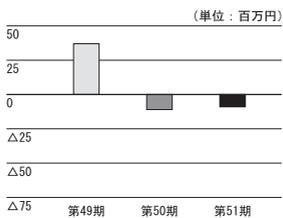
平成29年 4 月 1 日から
平成30年 3 月31日まで

決算ハイライト

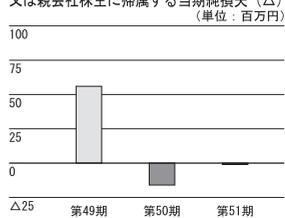
売上高



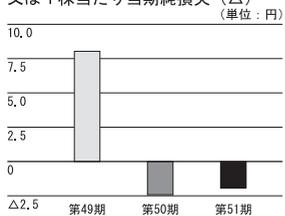
経常利益又は経常損失 (△)



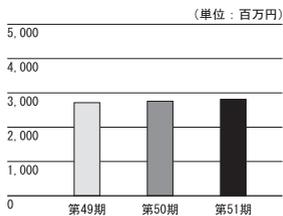
親会社株主に帰属する当期純利益
又は親会社株主に帰属する当期純損失 (△)



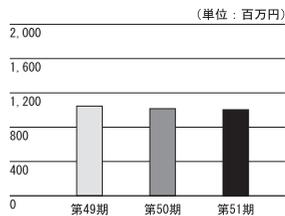
1株当たり当期純利益
又は1株当たり当期純損失 (△)



総資産



純資産



ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、第51期（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）の決算が終了し、事業報告書を作成いたしましたので、茲にお届け申し上げます。

食品業界におきましては、食の安全・安心に対するニーズが高まる中、当社グループは、「地球環境を大切に、食生活の提案を通して人々の健康的な生活向上に貢献する。」という創健社の企業理念の下、食の更なる信頼を目指し、国民の健康増進のため一同全力を尽くしてまいります。

当連結会計年度（平成29年4月1日～平成30年3月31日）におけるわが国経済は、政府・日銀による継続的な経済対策や金融政策の効果から企業収益や雇用環境の改善に加え設備投資についても堅調に増加し、緩やかな回復がみられる一方、海外の政治情勢や経済の不確実性が懸念されるなどから、景気の先行きは依然として不透明な状況のまま推移しております。

当社グループを取り巻く食品業界におきましては、食の安全や食に健康を求める消費者意識が高まる一方、天候不順による原材料の高騰や人手不足を背景とする物流費の上昇などにより、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような経営環境の下、当社は平成30年2月5日に創立50周年を迎えました。当社グループは、これまでの経験を基に更に改善に努め、「食」が持つ大切さを訴えるという創業以来の企業使命を果たすため、第4次中期経営計画『新たなマーケットの開拓』（平成29年4月1日から平成32年3月31日まで）を作成しました。その初年度となります当連結会計年度におきましては、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて国内の食の安全と、オーガニック市場への関心について大手食品企業を含めた競争がさらに高まる中、当社グループブランド商品のファン作りに注力するとともに、目標の営業利益額を達成するために役員・社員一丸となって取り組んでまいりました。

当連結会計年度における当社グループの商品品目別売上高につきましては、「嗜好品・飲料」が、レモン果汁等の売上減があったものの、チョコレート等の売上増により前連結会計年度比37百万円増（4.5%増）の8億61百万円、「副食品」が、熟成発酵黒にんにく等の売上減があったものの、有機トマト缶等の売上増により前連結会計年度比31百万円増（3.4%増）の9億62百万円、「栄養補助食品」が、ミドリムシ関連商品等の売上減があったものの、ハト麦酵素等の売上増により前連結会計年度比15百万円増（8.8%増）の1億93百万円、「その他」が、小型抗菌消臭剤等の売上減があったものの、ビタミンC保湿美容液等の売上増により前連結会計年度比1百万円増（1.2%増）の1億31百万円となりました。しかしながら、「油脂・乳製品」が、菜種油等の売上増があったものの、えごま油等の売上減により前連結会計年度比65百万円減（9.2%減）の6億49百万円、「調味料」が、マヨネーズ等の売上増があったものの、液体だし等の売上減により前連結会計年度比51百万円減（3.6%減）の13億89百万円、「乾物・雑穀」が、餅きび等の売上

増があったものの、押麦等の売上減により前連結会計年度比20百万円減（6.2%減）の3億12百万円となりました。

この結果、全体の売上高は、44億99百万円（前連結会計年度比51百万円減、1.1%減）となり、売上総利益率25.4%と前連結会計年度比0.2ポイント増となりました。販売費及び一般管理費は11億58百万円（前連結会計年度比3百万円減、0.3%減）となり、営業損益につきましては、営業損失14百万円（前連結会計年度は、営業損失15百万円）、経常損益につきましては、経常損失9百万円（前連結会計年度は、経常損失11百万円）という結果にて終了しました。また、親会社株主に帰属する当期純損益につきましては、親会社株主に帰属する当期純損失1百万円（前連結会計年度は、親会社株主に帰属する当期純損失16百万円）となりました。

今後の事業戦略

第4次中期経営計画『新たなマーケットの開拓』（平成29年4月1日から平成32年3月31日まで）の2年目となります。翌連結会計年度におきましては、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて国内の食の安全とオーガニック市場に関心がさらに高まる中、当市場においても大手食品企業の参入が始まり、ますます競争が激しくなっております。当社といたしましては、当社グループブランド商品のファン作りに注力するとともに、目標の営業利益額を達成させるために、以下の施策に役員・社員一丸となって取り組む所存でございます。

①さらなる情報の透明化

食に求める価値観が多様化している昨今、当社グループはトレーサビリティの一層の強化を果たすため、生産者の顔が見えるストーリーのある商品を開発し、ホームページ等での情報開示を通して、消費者が当社グループブランド商品を安心して選択して頂けるよう努めてまいります。

②リ・ブランディング

消費者が求める商品の提供を、積極的に行ってまいります。「分かる人のみに伝わればいい」という考えではなく、企業理念（地球環境を大切にし、食生活の提案を通して人々の健康的な生活向上に貢献する）を幹とし、商品ごとに分かりやすく明確にした基準を設け、新商品の開発に努めてまいります。また創健社ブランドの認知度向上のため、オープンイベント等への出店を行ってまいります。

③生産者及びメーカーとの連携強化

当社グループブランド商品を高品質で安定的に供給するためには、多品種に共有可能な原料の調達が重要になってまいります。日本の一次産業に貢献するためにも生産者及びメーカーとの連携を強化し、他社と一線を画した商品を提供する所存でございます。

④女性社員のさらなる活用

当社グループブランド商品の購買層に近い女性社員の目線を、商品コンセプト、パッケージ、味覚等に今まで以上に反映させるため女性会議を開催しその中で特に女性が商品に求める安全性、ファッション性、簡便性、美容、健康対策に繋げてまいります。

⑤注力チャネルの強化

量販店チャネルにおきましては、中小規模チェーン店、質飯店、専門小売チェーン店に注力してまいります。生協宅配、Eコマースチャネルにおきましては、インターネット販売の拡大及び特別企画の提案に注力してまいります。異業種チャネルにおきましては、新たな女性顧客の獲得を目指し、ライフスタイル提案型店に注力してまいります。

⑥ジロロモーニブランドの再拡売

発売10周年をむかえたイタリア・オーガニック食品のパイオニア、ジロロモーニシリーズの再拡売を目指してまいります。全世界共通パッケージの導入を機に日本でのパッケージリニューアルも徐々に進んでおります。パスタを中心にジロロモーニの差別化を強調し、プロ好みの仕様を活かして業務用の販売にも注力してまいります。その一環として提携しております「アーペ クチーナ ナチュラルレ」は、東京大学駒場リサーチキャンパス内の自然あふれる開放的な空間で、素材にこだわったおいしいオーガニック料理を楽しむことが出来るレストランです。このようなレストランとの連携も積極的に進めてまいります。当連結会計年度において発売10周年を記念してホームページで実施いたしました「ジロロモーニ・フォトコンテスト」は多数の応募を頂き、大きな反響となりました。同様の販売促進を今後も引き続き進めてまいります。

⑦当社グループブランド商品の輸出増加

メイド・イン・ジャパンへの信頼性に応え、アジア市場での販売を強化してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援、ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

平成30年 6月



代表取締役社長 中村 靖

主要商品の状況

当社グループの事業は単一セグメントであり、当連結会計年度の販売及び仕入実績をセグメントごとに示すことができないため、品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別主要商品販売構成

品目別	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)		当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)			主要商品
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	前連結 会計年度比	
油脂・乳製品	714,573	15.7	649,120	14.4	9.2%減	マーガリン・べに花油・えごま油・オリーブ油・ココナッツオイル・菜種油・原材料用サラダ油・ごま油
調味料	1,440,985	31.7	1,389,819	30.9	3.6%減	醤油・味噌・砂糖・塩・酢・カレー・シチュー・マヨネーズ・ドレッシング・液体だし・顆粒だし・醗酵調味料・蜂蜜
嗜好品・飲料	824,466	18.1	861,928	19.2	4.5%増	菓子・野菜果汁飲料・お茶・ドライフルーツ・五穀茶・発酵飲料・ナッツ類・メイシーシリーズ(菓子)
乾物・雑穀	332,706	7.3	312,089	6.9	6.2%減	小麦粉・パン粉・米・黒米・雑穀・饅頭・昆布・ひじき・蓮根粉・ハトムギ粒・餅きび・押麦・キヌア・切干大根・チアシード・炒り胡麻・もち麦・味付のり・干し桜えび
副食品	931,130	20.4	962,481	21.4	3.4%増	ジャム・スープ・レトルト食品・麺類・缶詰・熟成発酵黒にんにく・パンケーキ粉・らっきょう甘酢漬・シリアル食品・みそ汁・お節お重商品・炊き込みごはんの素・五目ちらし寿司の素・かき揚げ(冷凍)・コンビーフ・ビーナッツスブレッド・蒲鉾
栄養補助食品	177,355	3.9	193,023	4.3	8.8%増	青汁・キダチアロエ・梅エキス・ミドリムシ・ハトムギ酵素・乳酸菌・天茶エキス・コラーゲン・碁石茶・生姜粉末・板藍根・ルイボス茶・ルテイン・モリンガ(ハーブ系青汁)
その他	129,939	2.9	131,511	2.9	1.2%増	トイレットリー・機械器具・化粧品・虫よけスプレーなど
合計	4,551,156	100.0	4,499,975	100.0	1.1%減	—

品目別主要商品仕入構成

品目別	仕入高(千円)	構成比(%)	前連結会計年度比
油脂・乳製品	511,185	15.2	3.7%減
調味料	1,042,593	30.9	4.3%減
嗜好品・飲料	664,378	19.7	4.8%増
乾物・雑穀	255,014	7.6	5.2%減
副食品	648,881	19.2	4.9%増
栄養補助食品	136,253	4.0	11.9%増
その他	114,619	3.4	0.5%減
合計	3,372,926	100.0	0.2%減

連結財務諸表

連結貸借対照表

(平成30年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	2,307,163	流 動 負 債	1,169,705
現金及び預金	1,332,521	支払手形及び買掛金	529,001
受取手形及び売掛金	686,387	短期借入金	525,735
商品及び製品	239,840	リース債務	7,958
仕掛品	115	未払法人税等	10,868
原材料及び貯蔵品	29,660	賞与引当金	10,122
その他	20,261	その他	86,021
貸倒引当金	△1,623	固 定 負 債	636,369
固 定 資 産	503,408	長期借入金	300,230
有形固定資産	185,722	リース債務	17,929
建物及び構築物	53,203	繰延税金負債	6,953
土地	88,371	役員退職慰労引当金	93,600
リース資産	23,867	退職給付に係る負債	174,015
建設仮勘定	3,628	その他	43,641
その他	16,650	負 債 合 計	1,806,075
無形固定資産	8,871	純 資 産 の 部	
その他	8,871	株 主 資 本	988,508
投資その他の資産	308,814	資本金	920,465
投資有価証券	94,146	資本剰余金	45,965
保険積立金	176,429	利益剰余金	33,169
その他	41,211	自己株式	△11,091
貸倒引当金	△2,972	その他の包括利益累計額	15,988
		その他有価証券評価差額金	15,988
資 産 合 計	2,810,572	純 資 産 合 計	1,004,497
		負 債 純 資 産 合 計	2,810,572

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(平成29年4月1日から
平成30年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額	
売 上 高		4,499,975
売 上 原 価		3,355,816
売 上 総 利 益		1,144,159
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		1,158,413
営 業 損 失 (△)		△14,254
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	131	
受 取 配 当 金	1,716	
仕 入 割 引	3,337	
破 損 商 品 等 賠 償 金	1,133	
貸 倒 引 当 金 戻 入 額	890	
そ の 他	1,766	8,976
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	4,341	
そ の 他	0	4,341
経 常 損 失 (△)		△9,619
特 別 利 益		
固 定 資 産 売 却 益	152	
投 資 有 価 証 券 売 却 益	14,469	14,622
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 却 損	15	15
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益		4,987
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税		6,329
当 期 純 損 失 (△)		△1,342
非 支 配 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益		-
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 損 失 (△)		△1,342

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書

(平成29年4月1日から
平成30年3月31日まで)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	920,465	45,965	41,509	△11,081	996,858
当期変動額					
剰余金の配当			△6,997		△6,997
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△1,342		△1,342
自己株式の取得				△9	△9
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	-	-	△8,340	△9	△8,349
当期末残高	920,465	45,965	33,169	△11,091	988,508

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括 利益累計額合計	
当期首残高	19,204	19,204	1,016,062
当期変動額			
剰余金の配当			△6,997
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△1,342
自己株式の取得			△9
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△3,215	△3,215	△3,215
当期変動額合計	△3,215	△3,215	△11,565
当期末残高	15,988	15,988	1,004,497

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

単体財務諸表

貸借対照表

(平成30年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	2,253,914	流 動 負 債	1,141,734
現金及び預金	1,310,765	支払手形	42,949
受取手形	13,734	買掛金	486,792
売掛金	660,270	短期借入金	350,000
商品	239,110	1年内返済予定の長期借入金	156,231
貯蔵品	8,436	リース債務	6,590
前払費用	7,117	未払金	58,076
立替金	14,966	未払費用	3,725
その他	1,130	未払法人税等	10,578
貸倒引当金	△1,616	預り金	10,434
固 定 資 産	514,930	賞与引当金	9,522
有形固定資産	153,248	その他	6,834
建築物	45,620	固 定 負 債	605,785
構築物	17	長期借入金	280,994
車両運搬具	0	リース債務	15,773
工具、器具及び備品	8,218	繰延税金負債	6,953
リース資産	20,329	退職給付引当金	169,203
土地	79,033	役員退職慰労引当金	93,600
建設仮勘定	28	長期預り保証金	39,260
無形固定資産	8,862	負債合計	1,747,520
ソフトウェア	4,532	純 資 産 の 部	
電話加入権	1,279	株 主 資 本	1,005,336
その他	3,050	資本金	920,465
投資その他の資産	352,819	資本剰余金	45,965
投資有価証券	94,146	資本準備金	32,130
関係会社株	44,110	その他資本剰余金	13,835
出資金	15	利益剰余金	49,969
従業員長期貸付金	161	利益準備金	2,500
破産更生債権等	2,404	その他利益剰余金	47,469
差入保証金	35,449	別途積立金	20,000
会員権	2,071	繰越利益剰余金	27,469
保険積立金	176,429	自己株式	△11,063
長期前払費用	937	評 価 ・ 換 算 差 額 等	15,988
貸倒引当金	△2,904	その他有価証券評価差額金	15,988
資 産 合 計	2,768,845	純 資 産 合 計	1,021,325
		負 債 純 資 産 合 計	2,768,845

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

損 益 計 算 書

(平成29年4月1日から
平成30年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額	
売 上 高		4,406,652
売 上 原 価		3,298,790
売 上 総 利 益		1,107,862
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		1,121,796
営 業 損 失 (△)		△13,934
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	130	
受 取 配 当 金	1,716	
仕 入 割 引	3,337	
破 損 商 品 等 賠 償 金	1,087	
貸 倒 引 当 金 戻 入 額	945	
業 務 受 託 手 数 料	840	
そ の 他	1,749	9,807
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	3,778	
そ の 他	0	3,779
経 常 損 失 (△)		△7,905
特 別 利 益		
固 定 資 産 売 却 益	152	
投 資 有 価 証 券 売 却 益	13,815	13,967
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 却 損	15	15
税 引 前 当 期 純 利 益		6,046
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税		6,039
当 期 純 利 益		6

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

(平成29年4月1日から
平成30年3月31日まで)

(単位：千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計
					別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	920,465	32,130	13,835	45,965	1,500	20,000	35,460	56,960
当期変動額								
剰余金の配当							△6,997	△6,997
利益準備金の積立					1,000		△1,000	-
当期純利益							6	6
自己株式の取得								-
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）								
当期変動額合計	-	-	-	-	1,000	-	△7,990	△6,990
当期末残高	920,465	32,130	13,835	45,965	2,500	20,000	27,469	49,969

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額等 合計	
当期首残高	△11,053	1,012,337	18,928	18,928	1,031,266
当期変動額					
剰余金の配当		△6,997			△6,997
利益準備金の積立		-			-
当期純利益		6			6
自己株式の取得	△9	△9			△9
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）		-	△2,940	△2,940	△2,940
当期変動額合計	△9	△7,000	△2,940	△2,940	△9,940
当期末残高	△11,063	1,005,336	15,988	15,988	1,021,325

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

株主ご優待制度のご案内

株主の皆様へ日頃のご支援にお応えするとともに、当社商品のご利用を通じて、事業内容をより一層ご理解頂くため、3月31日の最終株主名簿に記録された皆様に下記商品を贈呈しております。

株式保有数	優待内容
100株～199株	3,000円相当の当社取扱商品詰合せ（Aセット）
200株～299株	6,000円相当の当社取扱商品詰合せ（A+Bセット）
300株以上	10,000円相当の当社取扱商品詰合せ（A+B+Cセット）

ご参考

平成30年7月初旬にお届けする商品です。

（Cセットは申込用ハガキを送って頂き、11月頃にお届けいたします。）



Aセット



Bセット



Cセット

「Aセット」

おかげさまで50周年 2食セット（ソース焼きそば 111.5g × 2）

麺は国内産小麦粉を100%使用し、卵を使わず独自の製法でコシを出した無かんすい麺を植物油で揚げています。特製ソースは化学調味料・着色料・動物性原料（チキン・ポーク・ビーフエキス及び魚介エキス）・油脂類は使用せず、りんご・トマト・玉ねぎ・にんにくなどの植物性原料で仕上げたノンオイルオリジナルソースです。麺にもよくからみ、炒めると香ばしい香りが広がります。

ご愛顧頂いております商品の特製2食セットにしました。お土産や記念品等にもお役立て下さい。

ジロロモーニ デュラム小麦 有機スパゲッティ 500g

有機栽培デュラム小麦を粗挽き（セモリナ）し、風味、おいしさ、そして、栄養素を壊さないようじっくり時間をかけ低温乾燥しました。小麦本来の味と香り、強いコシをお楽しみ頂けます。イタリア有機農業の父と呼ばれたジーノ・ジロロモーニさんが造り上げた逸品です。

ジロロモーニ 有機エキストラヴァージン オリーブオイル 250ml

イタリア南部カラブリア州ラウロポーリ、シーバリ地区に広がるオリーブ畑で有機栽培されたオリーブの実から作られたエキストラヴァージンオリーブオイルです。

マイルドな口当たりで口に含むと初めはピリリとドライな味がしますが、すぐにほんのりと甘さが広がります。香りはオリーブらしい香りと最後にアーモンドのような香ばしさも漂います。

有機ホールトマト缶 400g（固形量240g）

有機ダイストマト缶 400g（固形量240g）

イタリア南部のプーリア州ルチェーラにある限定農場で栽培された有機トマトだけを使用。クエン酸不使用でトマト本来の甘味と程よい酸味が特長です。「全形（ホール）タイプ」と「ダイスカットした立方形タイプ」。ビスフェノールA不使用缶。

有精卵マヨネーズ 300g

九州は大分県久住（くじゅう）高原の豊かな環境で平飼いされたニワトリたちの大切なタマゴを使ったあっさりまるやか風味のマヨネーズです。

平飼い鶏舎で自由に動き回った鶏たちが自然に交配出来る環境で生んだ卵を使用しています。（雄鶏5%以上の環境で飼育）

油は圧搾製法のみでしぼった“なたね油”と“べに花油”をブレンド。卵黄タイプでありながら、あっさりまるやか風味に仕上げました。

メイシーちゃん（TM）のおきにいり りんごとミルクのやわらかかりんとう 50g

信州産のりんごと牛乳を練り込んだしっとりやわらかい食感のかりんとうです。ほんのり酸味のきいた、飽きのこないおいしさです。

メイシーちゃん（TM）のおきにいり しおあじのポテトチップス 34g

国内産じゃがいもを植物油脂（米油、パーム油）で香ばしく揚げた食べきりサイズのポテトチップスです。食物繊維の補給にもおすすめです。

「Bセット」

金笛 春夏秋冬のだしの素 500ml

丸大豆、小麦、天日塩のみを原料とした「金笛しょうゆ」をベースとして、かつお節、昆布、しいたけのだしをいかしたつゆです。

本醸造しょうゆとだしの醸し出す、豊かな香りとコクは、めん類ばかりでなく種々の料理の味をいっそう引き立てます。

植物素材の本格カレールウ 中辛 135 g

25種類以上のオリジナルブレンドスパイスと直火焙煎した国内産小麦粉など、植物性素材のみで香り高くコクのある味に仕上げた、フレックタイプのカレールウです。

ラードや牛脂、動物性のブイヨン・エキスなど動物性原料は不使用。おいしさにこだわりながら脂質を30%カット（当社グルメカレー中辛と比べて）。フレックタイプなので、ドライカレー、ピラフ、炒め物などにもご利用頂けます。

有機国内産 薄力粉 300 g

国内で有機栽培された小麦を100%使用。有機栽培ならではの小麦本来の風味をお楽しみ頂けます。天ぷら・フライの衣やお好み焼き・ドーナツ・ケーキなどさまざまなお料理にご利用下さい。

ジャフマック ソフティー アーモンドクリーム 150 g

国内で焙煎されたアーモンドを使用しビタミンEたっぷりのとってもソフトなアーモンドクリーム。無香料、無着色、防腐剤不使用。カルシウム豊富。

柔らかいパンにそのまま塗れ、なめらかでふわふわの食感です。

童仙房茶舗 有機煎茶 100 g

農薬、化学肥料を一切使用しない有機栽培の健康な茶園で丹精こめて育てた宇治煎茶です。お手軽に飲めるようさわやかな味に仕上げました。

童仙房茶舗は京都府の南東端に位置し創業は明治4年。1980年に無農薬有機栽培に切り替え、生産・製造・販売を一貫して行っております。

長崎皿うどん 134 g（めん100 g、スープ17 g × 2）

麺は国内産小麦粉をかん水を使わず植物油でパリッと香ばしく揚げた本場長崎の揚げ麺。添付のあんかけスープの素は化学調味料、着色料、酸味料などを使わず自然の素材だけで作りましたので手軽に本格的な味をお作り頂けます。（2人前）

いわし味付 100g（固形量70g）

九州山陰地方で水揚げされた真いわしを、丸大豆本醸造醤油と鹿児島県喜界島産粗糖のみでまるやかに味付けました。（加工地：長崎県）

いわし特有のくさみがなく、骨まで食べられるように煮付けております。そのままおかずやおつまみとしてお召し上がり頂けますが、パスタやサラダなどお料理の素材にもおいしくご使用頂けます。

「Cセット」

- 1) 自然農法で栽培されたこだわりの新米2Kg×2袋 ゆめぴりか
- 2) 自然農法で栽培されたこだわりの新米2Kg×2袋 あきたこまち
- 3) 自然農法で栽培されたこだわりの新米2Kg×2袋 こしひかり
- 4) 創健社のチョコレート詰合せ（ビッグアーモンドチョコ等6商品）

1) ～4) の中から1つ選んで頂きます。

また、当社商品は特定の原材料を用いる事が多い事から、原材料の調達都合により株主優待商品がご案内と異なる事がございます。どうかご理解ご了承賜りますようお願い申し上げます。

会社概要

商号 株式会社 創健社
 英訳名 Sokensha Co., Ltd.
 所在地 〒221-8741
 横浜市神奈川区片倉二丁目37番11号
 TEL (045) 491-1441
 設立 昭和43年2月5日
 (証券コード：7413)
 資本金 9億2,046万5千円
 決算期 3月31日(年1回)

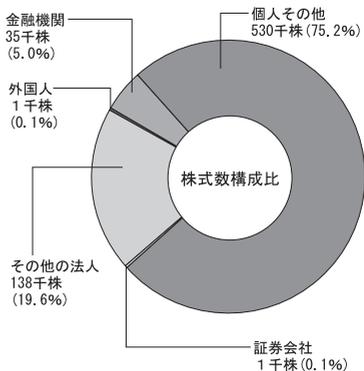
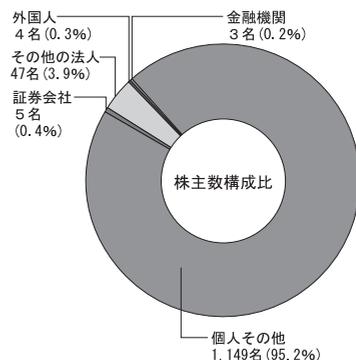
大株主 (平成30年3月31日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
中村 靖	84	12.02
中村 澄子	78	11.17
創健会 (取引先持株会)	62	8.90
太田油脂株式会社	59	8.43
株式会社横浜銀行	31	4.52
有限会社タカ・エンタープライズ	19	2.80
原田 こずえ	18	2.71
創健社従業員持株会	17	2.49
月島食品工業株式会社	12	1.85
日清オイリオグループ株式会社	12	1.78

取締役及び監査役 (平成30年6月28日現在)

地位	氏名
代表取締役社長	中村 靖
常務取締役	岸本 英喜
取締役	山田 一斗資
取締役	飯田 雅之
取締役	合田 真琴
常勤監査役	本田 次男
常勤監査役	藤川 清士
監査役	的場 堅志
監査役	鈴木 久衛

(注) 持株比率は自己株式 (5,715株) を控除して計算しております。



株式の状況 (平成30年3月31日現在)

発行可能株式総数 2,000,000株
 発行済株式の総数 705,500株
 一単元の株式数 100株
 株主数 1,208名



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月に開催
基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
期末配当 3月31日
※その他必要がある場合は、あらかじめ公告する一定の日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)
〔受付時間9:00~17:00(土、日、祝日、年末年始を除く)〕
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
ホームページ <https://www.tr.mufg.jp/daikou/>
東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)
電子公告により行います。
<http://www.sokensha.co.jp/company/>
ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
なお、当社の貸借対照表並びに損益計算書は、EDINET(金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム)にて開示しております。

上場証券取引所
公告方法

(株式に関する手続き)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せ下さい。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行株式会社)にお問合せ下さい。
3. マイナンバーの利用範囲には株式の税務関係手続きも含まれます。株主様は口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)へマイナンバーをお届出下さい。